

地球温暖化防止の取り組み

基本的な考え方

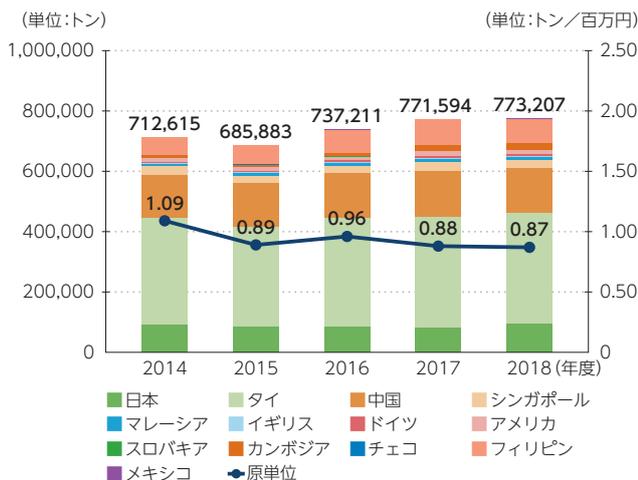
ミネベアミツミグループは、世界規模での課題となっている地球温暖化問題と、その影響によるエネルギー価格の上昇や異常気象の発生などが、事業活動の継続にも大きな影響を与えると考えています。

当社グループでは、地球温暖化防止に取り組むため、各事業所で積極的に省エネルギー対策を進めています。

2018年度の取り組み結果

2018年度のミネベアミツミグループ全体のCO₂排出量は773,207トンで、2017年度と比較してほぼ同量でした。一方、生産高原単位によりCO₂排出量をとらえた場合は、0.87トン/百万円で、2017年度より1%減少しました。

CO₂排出量推移(総量&原単位)



事業所における取り組み

「事業活動温暖化対策計画書制度 優良事業者」として表彰(日本:軽井沢工場)

軽井沢工場は、長野県から積極的に温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる企業として表彰されました。

長野県の地球温暖化対策条例に基づき、一定規模以上の企業に温室効果ガスの排出抑制計画の提出を義務付けており、計画内容や具体的な取り組み結果を基に評価されたものです。



環境フェアの開催(中国:上海工場、西岑工場)

上海美蓓亚精密机电有限公司は2018年10月27日に同社として初めてとなる環境フェアを開催しました。

従業員にCSR、環境、安全、3Rの各活動について理解を深

めてもらうことを目的として、工場の立地する青浦区の会場を借り、家族にも参加いただけるよう演芸会と一緒に催されました。会場外ではCSR、環境、安全、3Rの各部会のブースが設けられ、それぞれの活動ポスターを掲示しました。

イベントと合わせた効果もあり、フェアにはたくさんの人が訪れました。また、イベントに参加できなかった従業員のために当日各ブースに掲示されたポスターは、フェア終了後に工場内に掲示しました。



環境フェア



会場外の展示ブース

物流部門の取り組み

物流のCO₂排出量

ミネベアミツミグループは自社の直接のCO₂排出であるスコープ1(ガス、石油)、スコープ2(電気)のCO₂排出量に加え、スコープ3(輸送・流通)となる物流(製品輸送)のCO₂排出量の把握に取り組んでいます。

2018年度のミネベアミツミグループの製品輸送によるCO₂排出量は129,712トンで、2017年度と比較して36%減少しました。

物流のCO₂排出量



今後の課題・目標

ミネベアミツミグループでは、今後も引き続き地球温暖化防止に向けて取り組みを進めていきます。

2020年、2030年といった将来の長期的な展望としては、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)や各国の政策などを注視し、対策を進めていきます。